

## 十二使徒シリーズ

### ⑫サウロ (Saul) パウロ (Paul)

使徒 9:1-9

2020.8.2 HKJCF

1

## 概観

「13番目の使徒」、または「異邦人向けの使徒」パウロは、復活のイエスと出会う前と出会った後の変化について学びたい。

### アウトライン

- |           |      |
|-----------|------|
| 1. パウロの情熱 | V1-2 |
| 2. パウロの体験 | V3-6 |
| 3. パウロの回心 | V7-9 |

2

### 1. パウロの情熱 V1-2

- 1) サウロの背景: パリサイ人(使徒 22:3-5); ステパノの死(使徒 7:57-60); 教会への迫害(使徒 8:1-3); ユダヤ教を守ろうとした。
- 2) 脅かしと殺害の意: 旧約の前例(民数記 25:6-11; I 列王記 18:40); 異端の排除に徹底。
- 3) ダマスコの諸会堂あての手紙: エルサレムから約250キロ; 議会の権限で逮捕したい。
- 4) エルサレムに引いて来る: ①異端の拡散防止 ②ローマとの平和 ③自分の昇進。

3

### 2. パウロの体験 V3-6

- 1) 天からの光: パウロだけを巡り照らした; “ダマスコの道の体験”を待たない。
- 2) 「なぜ私を迫害するのか」: 神が仰せられたという認識; 律法と神殿を守っている自覚。
- 3) 「あなたが迫害しているイエス」: ナザレのイエス = 神様? 信徒たち = イエス様?
- 4) 「あなたのしなければならないこと」: ①待つ ②アナニヤに祈ってもらう ③アナニヤから主の使命を受ける(使徒 1:12, 15-16)。

4

### 3. パウロの回心 V7-9

- 1) 同行していた人たちが: 光を見たが、神の声を聞き分けられなかった(使徒 22:8-9)。
- 2) 目が見えなくなった: 神様に取り扱われた; 体験を通して信仰を引き出させる。
- 3) 三日間の静まり: ステパノの祈り; 迫害? ; 復活の事実; キリストの体への傷。
- 4) パウロの変化: 律法→恵み(I コリント 15:6-10; I テモテ 1:13-16); 異邦人に福音(ガラテヤ 2:8); 走りぬいた人生(II テモテ 4:6-8)。

5

## 適用

①神様の愛と赦しは全員に開かれている: 過去にどんな失敗を犯しても、神様に立ち返り、悔い改めることを決断すれば、神様に赦され愛される。

②永遠のものと神様のために献身しよう: 本当に復活されたイエスのために、2000年以上続いた御国のために、人生を捧げることができるのは信徒の特権である。

6